

平成28年3月期 決算概要

日本化成株式会社

[単位:百万円]

1. 連結業績

	28年3月期 (H27.4.1- H28.3.31)	27年3月期 (H26.4.1- H27.3.31)	増減	
			金額	率
売上高	32,871	37,294	△ 4,423	-11.9%
営業利益	1,112	1,774	△ 662	-37.3%
金融収支	281	523	△ 242	※1
その他営業外	155	298	△ 143	※2
持分法損益	19	56	△ 37	※3
経常利益	1,567	2,651	△ 1,084	-40.9%
特別損益	△ 194	△ 294	100	※4
税引前利益	1,373	2,357	△ 984	-41.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	895	1,281	△ 386	-30.1%
1株当り当期純利益	8円52銭	12円19銭		
1株当り配当金	4円	4円		

※1 金融収支の主な内訳

	H28/3	H27/3	差
受取配当金	353	605	△252
支払利息	△72	△82	+10

※2 その他営業外差異主な内訳

	H28/3	H27/3	差
受取保険金	27	66	△39
固定資産売却益	2	35	△33
為替差損益	△7	25	△32
投資有価証券売却益	—	19	△19

※3 小名浜海陸運送

	H28/3	H27/3	差
小名浜海陸運送	19	56	△37

※4 特別損益内訳

	28年3月期	27年3月期
投資有価証券売却益	143	—
固定資産処分損	(注1) △ 337	(注2) △ 183
減損損失	—	(注3) △ 111
計	△ 194	△ 294

(注1) 小名浜工場遊休設備撤去費等

(注2) 小名浜工場遊休設備撤去費、賃貸用資産撤去費

(注3) 小名浜工場「マイド」製造設備、賃貸用資産

①セグメント別売上高 (連結)

		28年3月期 (H27.4.1- H28.3.31)	27年3月期 (H26.4.1- H27.3.31)	増減
報告セグメント	無機化学品	15,738	17,172	△ 1,434
	機能化学品・化成品	11,120	12,375	△ 1,255
	エンジニアリング	4,560	6,283	△ 1,723
	貨物運送・荷役	1,163	1,106	57
その他	122	192	△ 70	
調整額	168	166	2	
計	32,871	37,294	△ 4,423	

合成石英粉は半導体関連分野が比較的堅調に推移したことから増収となるも、アンモニア系製品の主要顧客向け販売減少、硝酸系製造黒崎集約に伴う小名浜工場硝酸系製造停止等により、対前年同期比減収

ホルマリン・木材加工用接着剤は合板メーカーの減産による需要減少、TAIC®(ゴム・プラスチック架橋助剤)・紫外線硬化性樹脂は主要顧客向け販売の減少等により、前年同期に比べ減収

競争環境が激化し、前年同期に比べ受注案件が大きく落ち込んだこと等により、対前年同期大幅減収

新規案件の獲得等により、対前年同期比微増

有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により、対前年同期比減収

上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益 (連結)

		28年3月期 (H27.4.1- H28.3.31)	27年3月期 (H26.4.1- H27.3.31)	増減
報告セグメント	無機化学品	392	858	△ 466
	機能化学品・化成品	381	560	△ 179
	エンジニアリング	149	371	△ 222
	貨物運送・荷役	59	57	2
その他	19	11	8	
調整額	112	△ 83	195	
計	1,112	1,774	△ 662	

合成石英粉は比較的堅調に推移したものの、アンモニア系製品の主要顧客向け販売の減少等により、対前年同期比大幅減収

ホルマリン・木材加工用接着剤は合板メーカーの減産による需要減少、TAIC®(ゴム・プラスチック架橋助剤)の競争環境激化、紫外線硬化性樹脂の主要顧客向け販売の減少等から、前年同期に比べ減収

競争環境が激化し、前年同期に比べ受注案件が大きく落ち込んだこと等により、対前年同期比大幅減収

車両更新等により経費が増加したものの、新規案件の獲得等により、対前年同期比微増

有機溶剤等の蒸留・精製業について、原燃料価格下落等によるコスト減により対前年同期比増益

原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示  
(含みらいプロジェクト開発費用 H28年度3月期 △94 H27年度3月期 △152)

2. 連結比較貸借対照表

	28年3月期 (H28.3.31)	27年3月期 (H27.3.31)	増減	28年3月期			
				(H28.3.31)	(H27.3.31)	増減	
現預金	1,084	1,411	△ 327	有利子負債	8,172	9,309	△ 1,137
売上債権	9,650	10,623	△ 973	仕入債務	5,125	5,437	△ 312
たな卸資産	4,223	4,468	△ 245	その他負債 ※2	6,151	7,331	△ 1,180
固定資産(有形・無形)	11,336	10,618	718	株主資本	13,386	12,912	474
投融資等	5,563	5,786	△ 223	その他の包括利益累計額 ※3	△ 111	4	△ 115
その他資産 ※1	867	2,087	△ 1,220				
資産合計	32,723	34,993	△ 2,270	負債・純資産合計	32,723	34,993	△ 2,270

(注) 自己資本=純資産-少数株主持分

D/E/イオ=有利子負債/自己資本

	28年3月期	27年3月期	増減
自己資本	13,275	12,916	359
自己資本比率	40.6%	36.9%	3.7%
有利子負債	8,172	9,309	△ 1,137
D/E/イオ	0.62	0.72	△ 0.10

※1 増減内訳: 短期貸付金 △1,000 等

※2 増減内訳: 前受金△385、未払費用△351、未払消費税△275 等

※3 増減内訳: その他有価証券評価差額金△92 等

### 3. 連結キャッシュ・フロー

	28年3月期 (H27.4.1- H28.3.31)		(参考) 27年3月期 (H26.4.1- H27.3.31)
営業活動によるCF	1,705	税引前利益 1,373、減価償却費 900、売上債権の減少額 973、 その他の流動負債の減少額 △1,260、法人税等の支払額等 △281	1,636
投資活動によるCF	△472	設備投資 △1,633、短期貸付金の減少額 1,000、投資有価証券の売却収入等 161	△1,137
フリー・キャッシュ・フロー	1,233		499
財務活動によるCF	△1,558	借入金の返済 △1,137、配当金の支払等 △421	△467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2		13
現金及び現金同等物の増減	△327		45

### 4. 連結次期業績予想

	29年3月期			28年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期		金額	率
売上高	16,340	18,160	34,500	32,871	1,629	5.0%
営業利益	310	810	1,120	1,112	8	0.7%
経常利益	330	1,060	1,390	1,567	△177	-11.3%
特別損益	△100	△200	△300	△194	△106	
税引前利益	230	860	1,090	1,373	△283	-20.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	160	600	760	895	△135	-15.1%
1株当たり当期純利益	1円52銭	5円71銭	7円23銭	8円52銭		
1株当たり配当金(期末のみ)		4円	4円	4円		

#### ①セグメント別売上高

	29年3月期			28年3月期 実績	増減		
	上期	下期	通期				
報告セグメント	無機化学品	8,200	8,400	16,600	15,738	862	アゾモ-7系製品の主要顧客向け販売回復、AdBlue®等の拡販努力により増収
	機能化学品・化成品	5,500	6,000	11,500	11,120	380	ホルマリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復等により増収
	エンジニアリング	1,900	3,000	4,900	4,560	340	工事受注回復等により増収
	貨物運送・荷役	600	610	1,210	1,163	47	主要顧客向け運送量増等により増収
その他	60	60	120	122	△2	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減収	
調整額	80	90	170	168	2	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示	
計	16,340	18,160	34,500	32,871	1,629		

#### ②セグメント別営業利益

	29年3月期			28年3月期 実績	増減		
	上期	下期	通期				
報告セグメント	無機化学品	220	290	510	392	118	アゾモ-7系製品の主要顧客向け販売回復、AdBlue®等の拡販努力により増益
	機能化学品・化成品	60	330	390	381	9	ホルマリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復あるも、機能化学品関連の競争環境激化等により微増
	エンジニアリング	10	150	160	149	11	工事受注努力等により微増
	貨物運送・荷役	20	30	50	59	△9	車両の更新等による経費増により微減
その他	0	10	10	19	△9	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減益	
調整額	0	0	0	112	△112	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示	
計	310	810	1,120	1,112	8		